

## 活動団体ご紹介 人権ネットワーク八幡

多様な人に出会える。人権ネットワーク八幡の事務所を覗くと今までにない出会いがあります。

学校嫌いの元教師、明るいトークの元靴職人さん、外国にルーツを持つ子育て奮闘中のママ、毎週土曜日の夜には若者たちがぞろぞろと集結!人権ネットワーク八幡の最大の魅力は立場を超えた繋がりです。様々な立場の人たちが集まり、多様性を認め合う社会を目指して活動をしています。

また賛助団体(加盟7団体)さんたちの交流も盛んで、それまでバラバラに活動していた団体さんたちがコラボ企画などを通じて連携を深めています。地域の若者が企画した「クリスマス会」や「学習支援ボランティア」、週に一度、発行している機関紙『人権ネットワーク八幡 NEWS』、八幡町の伝統でもある皮革産業の文化継承のためのレザークラフト教室など、好評を博しています。

これからも繋がりを大切にした「人権が大切にされる」ことを実感出来るようなネットワーク作りになるよう楽しみながら活動をしていきたいと考えています。ご興味を持たれた方は是非人権ネットワーク八幡の「多様な一人」になってみませんか?

事務局 〒523-0857 近江八幡市八幡町170 (旧八幡教育集会所内)  
携帯 080-2525-7114(高坂) 090-7344-6555(竹尾) E-mail Tko\_koj1224@yahoo.co.jp



## 冊子のご案内

～白雲館にて販売中～

### 郷土の若人へ 励ましのメッセージ

.....【近江八幡市が輩出した偉大な先輩たち27人から若者たちへの熱いメッセージ】

H23/3/3 発行

### NISHINOKO

.....【西の湖とその流域は自然の宝庫～人と自然が織り成す生物多様性～】

H22/10/1 発行

### 101本の木になる樹

.....【近江八幡市民推薦の名木101本をご紹介】

H17/4/1 発行

### よみがえる八幡堀

.....【埋められようとしていた八幡堀の保存修景の歴史を貴重な写真と資料で】

S49/11 発行

### 琵琶湖と人の暮らしをつなぐ八幡堀

.....【近江八幡の、そして八幡堀の歴史がわかる写真集】

H26/3/31 発行

¥2,000(税別)

¥1,000(税別)

¥800(税別)

¥800(税別)

¥1,000(税別)



(一財)ハートランド推進財団 事務局

〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地(白雲館内)

TEL.0748-33-5510/FAX.0748-33-5697

E-mail chukan@npo-omi8man.ne.jp

(交通のご案内)



この印刷物は、琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付印刷用紙びわ湖環境ペーパーを採用しています。また、適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙を使用し、大豆油インキを含む植物油インキ及び、有害な溶剤を排出しない水なし印刷を行い、その製造及び廃棄におけるCO<sub>2</sub>排出量はCO<sub>2</sub>を通じカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO<sub>2</sub>排出量は上記の通りです。

JR近江八幡駅北口バス乗り場より近江鉄道バス「長命寺」行き→「大杉町」下車、徒歩2分

# はーとらんど

HEART  
LAND  
OHMIHACHIMAN

通信 vol.4  
2015.2月号

(一財)ハートランド推進財団 情報誌



心のふるさと  
みんなが主役のまちづくり

まちづくりは人づくり

文化というものは目に見えません。  
私達に出来ることはただ一つ、人を  
育成するための「心の環境づくり」であり、  
ハートランド推進財団はその育成を  
支援しています。

## ホタル鑑賞会 平成26年6月14日(土)開催

水と緑の市民環境ネットワーク螢部会主催の毎年恒例のホタル鑑賞会。今回は募集を開始するとあっという間に予定していた定員60名をオーバーし、急遽バスを増台し最終的に155名の市民の皆様からお申込をいただきました。前半・後半組に別れバス3台で鑑賞場所へ。夕方まで降っていた雨が上がり、絶好のロケーションで前回よりたくさんホタルを鑑賞することが出来ました。

ホタルが棲む場所の条件は、綺麗な水が流れていること、幼虫の餌になるカワニナがいること、土手にサナギになるために潜れる柔らかい土があること、水の近くに卵を産むための苔や木があること、安心して飛び回れる広い空間があること・・・ただ水が綺麗なだけではホタルは棲めないので、夕闇に光るホタルは環境の結晶であると言えるのかもしれません。



## 第13回 八幡堀魚釣り大会 平成26年7月21日(月祝)開催

八幡堀を守る会主催の今年で13回目の開催でした。好天に恵まれ、まさに真夏日! 60組130名の参加者が八幡堀に集まり、竿を垂らしました。

釣れるのはブルーギルという外来魚ばかり。そんな中、ハエやオイカワ、ハスを釣り上げた参加者もありました。結果は164匹のブルーギルを釣り上げた中学生が市長賞、続いて154匹釣った親子が教育長賞、18センチのブルーギルで敢闘賞を受賞した親子などなど授賞式は賑やかに執り行われました。釣り上げたブルーギルは総数1,889匹。今回も八幡堀の外来魚駆除という一役を皆さんに担っていただくことが出来ました。



釣っている八幡堀エリアのあちこちに浮き輪があり、後片付けの時に回収されている八幡堀を守る会の方達の姿がありました。参加者の安全も見守っていて下さったんですね!

# ヴォーリズ・メモリアル in 近江八幡

## ヴォーリズ没後 50 年記念企画展を終えて

近江八幡市名誉市民一号のヴォーリズ氏（ウイリアム・メレル・ヴォーリズ

日本名 一柳米来留）の没後 50 年を記念して、昨年 10 月 4 日～11 月 3 日に《ヴォーリズ・メモリアル in 近江八幡》を開催しました。

開催の目的は、町の文化的資産とも云えるヴォーリズ氏の偉業を広く知って貰う事と、市内に残るヴォーリズ建築の保存・再生に資する事にありました。休日に 2 度も台風が来襲し、客足に大いに影響を受けましたが、全国から凡そ 8,500 人の来場者があり賑わいました。

没後 50 年という節目の意味は、生身のヴォーリズさんや満喜子夫人と親交があった方がお元気で、そのエピソードを聞けるチャンスでもあったわけです。5 年前に開催したヴォーリズ展を更に魅力のあるものにする為、期間中様々な講演会や音楽会をほぼ連日に亘り催しました。高名な姜尚中氏を招いての講演会・シンポジウムの他、生前のヴォーリズ氏を知る方のミニ講演会・音楽会、そして 2 時間で回る特別観覧コースなど、ヴォーリズファンには大変魅力的な内容になりました。

旧市街地に分散するヴォーリズ建築をテーマ会場にして、伝道活動・教育・医療福祉・建築・医薬品事業など、この町に氏が遺した数々の業績をより深く知って貰えるもので、展示パネルも 125 枚にも及ぶものでした。今回特に注力したのが、次世代を担う子供達に地元の偉人ヴォーリズを知って貰う事でした。各学校の先生方のご理解を得て、多くの小中高生が見学に来てくれました。

各会場のボランティアスタッフも総勢 555 名と、驚異的な多くの市民有志のご協力をいただくことも出来ました。今回の記念企画展は、市民有志による実行委員会組織で運営され成功裏に終わったことも、今後の《まちづくり》の参考になるものと思います。ヴォーリズが約 60 年を過ごした町、そしてヴォーリズ建築が 25 件も残る町、近江八幡として、これから特徴的なまちづくりに生かされることを願っています。

終わりに、実行委員会事務局として、場を提供頂きました(財)ハートランド推進財団様にこの場を借りて御礼申し上げます。

ヴォーリズ没後 50 年記念事業実行委員会  
事務局長 村西耕爾



50 VORIES  
W.M.Vories 50th Memorial in Omi-hachiman

## ボランティアさんの声

多くの方が近江八幡に訪れて、文化や歴史に触れていただき、また、地元の皆さんにもヴォーリズさんの功績を再認識していただける機会が持てたことは市民として大変嬉しい限りです。

### 西山 義雄さん

ヴォーリズ先生の生き方や建築の素晴らしさに驚き、人と人との触れ合いと接客を学ぶことが出来ました。他府県からの見学者が多く来られていたのが印象的でした。

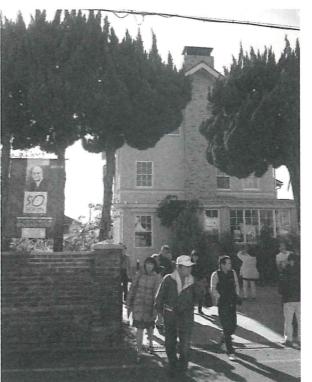


### 藤松 直子さん

今でもなおヴォーリズ先生の建物から伝わる優しい思いが、私達に受け継がれているのを身をもって体験できるいい経験をさせていただきました。たくさんのボランティアさんとの出会いも楽しかったです。

### 東森 俊之さん

母校である近江兄弟社学園で 15 年間お世話になった私にとって、メレル先生と満喜子先生のことを思い起こし、より深く思いを感じる機会となりました。多くのボランティアさんや見学者の方々との新しい出会いは大きな悦びです。参加出来て感謝しています。



### 小関 皆町さん

主催者と市民ボランティアが一体となり運営にあたっておられ、丁寧な対応がとても良かったとお褒めの言葉をいただきました。ヴォーリズ建築の建物でティータイムがしたいなという女性来場者の声があり、現実になればいいなと思いました。



▲八幡小学校四年生見学



▲ハイド館



▲ゴスペルコンサート

50  
VORIES  
W.Merrell Voris Memorial 50th in Omi-hachiman



▲パネル展示



▲姜尚中氏講演会



▲音楽会